



大砂土小だより

学校教育目標「自ら学び、考えて行動する児童の育成」
～ 望め合い・学び合い・共に育つ ～

<目指す児童像>

豊かなコミュニケーションの下で、

かしこい子(知) 明るい子(徳) たくましい子(体)

TEL 663-7005

FAX 663-9886

大砂土小学校 ホームページは <http://osato-esaitama-city.ed.jp/> メールアドレス osato-e@saitama-city.ed.jp

令和8年4月28日 第2号

新緑の風とともに

校長 新堀 栄

若葉がまぶしく、校庭の木々も一斉に芽吹く季節となりました。朝、子どもたちが登校してくる頃、やわらかな風に揺れる新緑に包まれながら、学校全体が大きく深呼吸をしているような雰囲気を感じます。

新年度が始まって一か月。子どもたちの表情にも、少しずつ落ち着きと自信が見られるようになってきました。4月は、新しい学級、新しい先生、新しい友達との出会いに、子どもたちは毎日全力で向き合ってきました。緊張しながらも話を聞こうとする姿、友達に声をかけようとする姿、分からないことを何とか理解しようとする姿が、校内のあちらこちらで見られました。朝の昇降口や廊下ですれ違う子どもたちの表情からも、この一か月に積み重ねてきた努力の様子が静かに伝わってきます。どの子どもにとっても、心と体を大きく使った一か月だったことでしょう。

こうした一か月の歩みを経て迎える5月は、緊張が少し緩み、「学校生活に慣れてくる」時期です。この「慣れ」は、成長の証である一方で、人との距離感が変わり、小さな行き違いやすれ違いが生まれやすい時期でもあります。何気ない言葉で相手を傷つけてしまったり、仲の良さが行き過ぎてしまったりすることもあります。そのため学校では、「困っているサインはないか」「誰か一人になっていないか」と、日常の様子に目を向け、早めに声をかけることを大切にしています。3年生以上では「心と生活のアンケート」を実施し、心配な児童には担任が面談を行っているところでもあります。小さな変化の段階で気付くことが、その子の安心につながっていきます。

このような心の面への配慮とあわせて、5月は、学習や生活の面で「土台づくり」を進める非常に大切な時期でもあります。授業の内容そのものだけでなく、話の聞き方や友達との関わり方、集団の中での自分の立ち位置などについても、改めて確かめていきます。新緑の木々が、目に見えないところでしっかりと根を張っていくように、子どもたちもまた、外からは分かりにくい力を静かに蓄えています。

気温が上がり、外で過ごす時間が心地よくなる一方で、体調管理や安全面への配慮も欠かせません。水分補給や休み時間の過ごし方、登下校時の安全について、引き続き指導してまいります。ご家庭でも、早寝早起きや朝食の大切さなど、生活のリズムについて話題にしていただければ幸いです。

本校には1,200人以上の子どもたちが在籍しています。人数の多い学校だからこそ、一人ひとりの名前や表情に心を留める姿勢が、より一層大切になります。その一人ひとりが、「ここにいてよい」「自分は大切にされている」と感じられる学校であることが、何よりも重要です。日々の何気ないやり取りや表情の変化を丁寧に受け止めながら、教職員一同、子どもたちの成長を支えてまいります。

新緑の季節は、これから大きく育つ準備の時期です。子どもたちが安心できる毎日の中で、自分らしく学び、挑戦していけるよう、学校・家庭・地域が力を合わせ、ともに歩んでいければと思います。今月(5月)も、どうぞよろしくお願ひいたします。